

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

第 7 卷 第 9 号

第 9 週 (2月26日 ~ 3月4日)

発行年月日:平成19年(2007年) 3月 8日

発行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

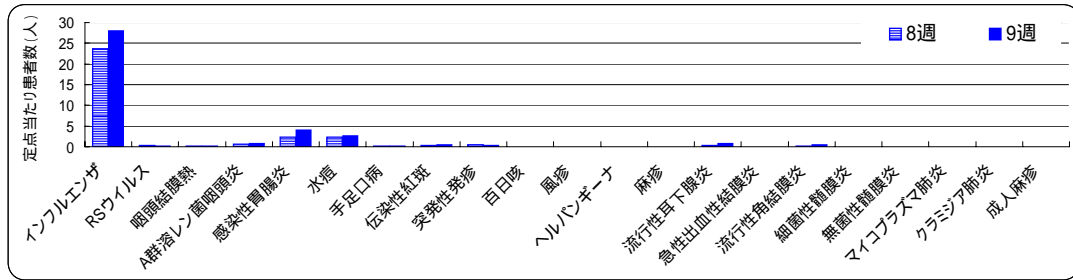
### 今週の感染症発生動向

**インフルエンザの発生は先週よりさらに増加(注意報発令中!)**

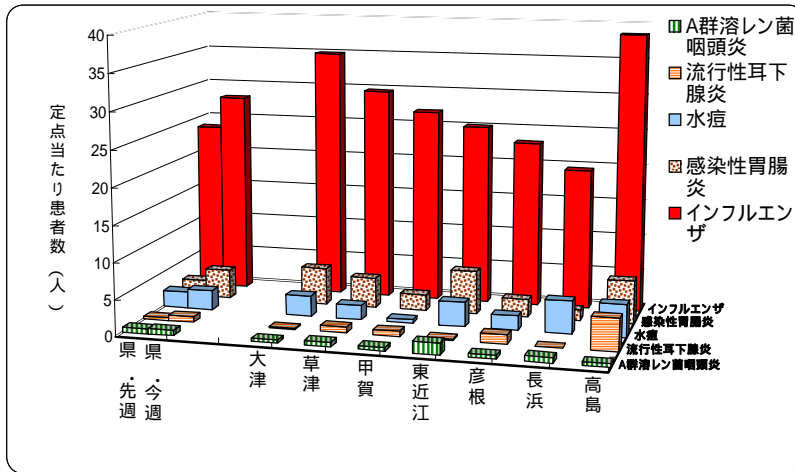
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第8週(2月19日~2月25日)の報告数よりさらに多くなっています。今週、増加した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎等で、減少した疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱および突発性発しんです(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」ではインフルエンザに警報および注意報が、水痘および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)に注意報が発生しています。全数把握対象疾患では、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)

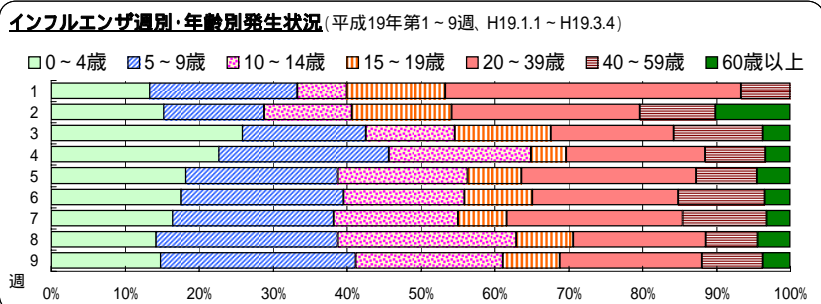


上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第9週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。インフルエンザは先週に引き続き増加し、特に高島で急増しています。

インフルエンザの週別・年齢別発生状況(平成19年第1~9週、H19.1.1~H19.3.4)



第1~9週の年齢別発生割合はグラフに示すとおりです。各年齢層ともに明瞭な変化はみられませんが、0~4歳および15~19歳においてやや減少傾向となっています。

## 警報・注意報発生状況

### インフルエンザの注意報発生状況(平成19年第6～9週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数
6週	12.58	16.00	12.90	13.43	8.00	12.14	12.00	11.67
7週	14.91	17.64	13.00	18.14	12.13	14.00	11.00	22.33
8週	23.60	21.00	30.40	30.71	20.50	25.14	12.43	24.67
9週	28.04	34.91	29.70	27.00	25.13	23.14	19.57	38.67

:警報発生中
:注意報発生中
 警報発生基準値: 定点当たり患者数が30人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が10人未満になるまで継続して出されます。  
 注意報発生基準値: 定点当たり患者数が10人以上という基準値を超えた時に出されます。

### 水痘の警報・注意報発生状況(平成19年第1～9週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数
1週	3.78	3.86	1.50	6.25	8.00	4.75	0.25	0
2週	2.91	1.86	1.50	0.75	7.60	4.50	1.75	2.50
3週	3.13	1.43	3.33	2.50	7.40	4.25	1.00	1.00
4週	2.41	1.71	2.83	0.75	4.20	2.75	2.25	2.00
5週	2.34	2.29	2.50	1.00	4.60	2.75	1.00	1.00
6週	3.19	1.29	3.00	2.50	6.20	2.00	5.00	3.00
7週	3.03	4.29	2.17	1.50	4.00	2.75	2.50	3.50
8週	2.31	1.14	1.50	1.50	3.60	4.00	2.25	4.00
9週	2.69	2.86	2.00	0.50	3.40	2.00	4.50	4.50

:警報発生中
:注意報発生中
 警報発生基準値: 定点当たり患者数が7人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が4人未満になるまで継続して出されます。  
 注意報発生基準値: 定点当たり患者数が4人以上という基準値を超えた時に出されます。

### 流行性耳下腺炎の注意報発生状況(平成19年第9週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数
9週	0.75	0.14	0.83	0.75	0.20	1.25	0	4.50

:注意報発生中
 注意報発生基準値: 定点当たり患者数が3人以上という基準値を超えた時に出されます。

### <<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報あるいは流行発生注意報という表現により流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

#### 流行発生警報

**流行発生警報**という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

#### 流行発生注意報

**流行発生注意報**という表現により今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

\* 詳細については警報・注意報発生システムとは(国立感染症研究所感染症情報センター)参照  
<http://idsc.nih.gov.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide06.html>

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (9週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (9週)	全国 (9週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	2	1	47
	細菌性赤痢	0	0	92	6 <sup>(*)2</sup>	483
三類感染症	腸チフス	0	0	5	0	72
	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	123	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	7	2	70
	A型肝炎	0	0	35	21	316
	オウム病	0	0	4	0	22
	デング熱	0	0	7	0	57
	マラリア	0	0	4	0	61
	レジオネラ症	0	1	64	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	1	118	8	738
	ウイルス性肝炎	0	0	24	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	24	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	20	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	0	207	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	8	1	87
	梅毒	0	0	77	4	625
	破傷風	0	0	9	1	115
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	16	0	79
	急性脳炎	0	0	29	1	160

\*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。  
\*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第9週(2/26～3/4) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: オウム病 1例	五類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
二類感染症: 細菌性赤痢 10例	A型肝炎 1例	後天性免疫不全症候群 16例
腸チフス 2例	レジオネラ症 9例	バンコマイシン耐性
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 17例	つづが虫病 1例	腸球菌感染症 1例
四類感染症: マラリア 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 9例	破傷風 1例
	梅毒 8例	急性脳炎 1例

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一か所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53か所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第4～9週、1/22～3/4)

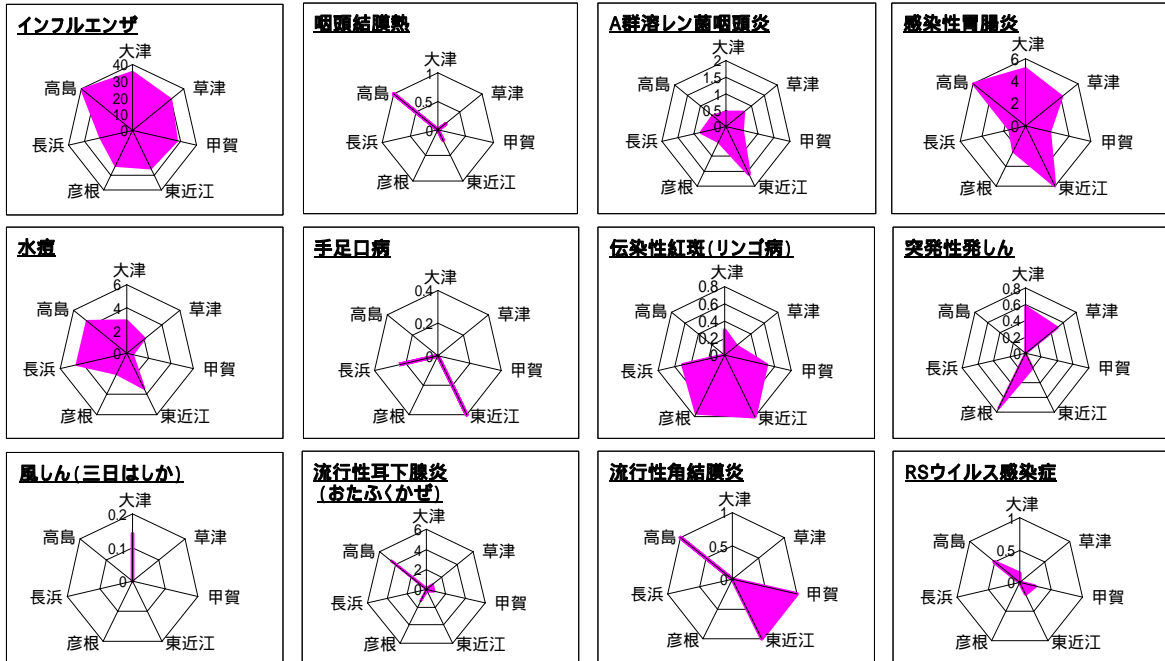
疾患名	定点当たり患者数										
	前週より増加						前週と同じ			前週より減少	
	4週 (1/22～)	5週 (1/29～)	6週 (2/5～)	7週 (2/12～)	8週 (2/19～)	9週 (2/26～)	5	6	7	8	9
インフルエンザ	4.42	6.23	12.58	14.91	23.60	28.04					
RSウイルス感染症	0.59	0.97	0.59	0.19	0.25	0.13					
咽頭結膜熱	0.19	0.19	0.13	0.06	0.16	0.13					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	0.75	0.69	0.63	0.69	0.72					
感染性胃腸炎	4.06	3.28	4.09	2.59	2.31	4.00					
水痘	2.41	2.34	3.19	3.03	2.31	2.69					
手足口病	0.06	0.03	0.03	0.06	0.09	0.09					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.81	0.56	0.81	0.47	0.25	0.44					
突発性発しん	0.19	0.38	0.25	0.25	0.41	0.34					
百日咳	0	0.03	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0.03					
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0.03					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0.19	0.38	0.44	0.38	0.75					
急性出血性結膜炎	0	0	0.29	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.57	0	0.29	0.43	0.14	0.43					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0.57	0.43	1.00	0.57	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第9週、2/26~3/4)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	28.04	34.91	29.70	27.00	25.13	23.14	19.57	38.67	
RSウイルス感染症	0.13	0.14	0	0.25	0.20	0	0	0.50	
咽頭結膜熱	0.13	0	0.17	0	0.20	0	0	1.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72	0.43	0.67	0.50	1.60	0.50	0.75	0.50	
感染性胃腸炎	4.00	5.14	4.17	2.25	6.00	2.50	1.50	6.00	
水痘	2.69	2.86	2.00	0.50	3.40	2.00	4.50	4.50	
手足口病	0.09	0	0	0	0.40	0	0.25	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.44	0.29	0.17	0.50	0.80	0.75	0.50	0	
突発性発しん	0.34	0.57	0.50	0	0.20	0.75	0	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.75	0.14	0.83	0.75	0.20	1.25	0	4.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0	0	1.00	1.00	0	0	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加    
 ■ は警報発生中    
 ■ は注意報発生中    
 0 5 10 15 20 25 30    
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

インフルエンザ-----大津および高島における定点当たり患者数はそれぞれ、34.91、38.67となり警報開始基準値(30.00)を超えました。県全体では草津、甲賀、大津および高島に警報が出されています。

咽頭結膜熱-----県全体では先週とほぼ同様の発生状況です。

A群溶レン菌咽頭炎----先週に引き続き東近江でやや多い状態となっています。

感染性胃腸炎-----全ての保健所管内で先週より増加し、特に東近江および高島で急増しています。

水痘-----先週多かった彦根では減少していますが、長浜および高島で注意報開始基準値(4.0)を超えました。長浜および高島の定点当たり患者数は4.50です。

手足口病-----先週とほぼ同様の発生状況です。

伝染性紅斑-----甲賀、東近江、彦根および長浜で先週より多くなっています。

突発性発しん-----県全体では先週より減少しています。

風しん-----大津から報告されています。

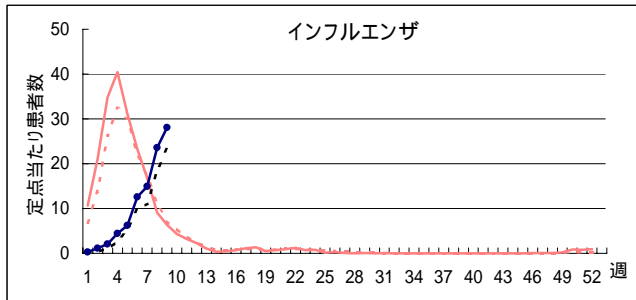
流行性耳下腺炎-----県全体では先週より増加しています。特に高島で急増し、定点当たり患者数が4.50となり注意報開始基準値(3.00)を超えました。

流行性角結膜炎-----甲賀、東近江および高島から報告されています。

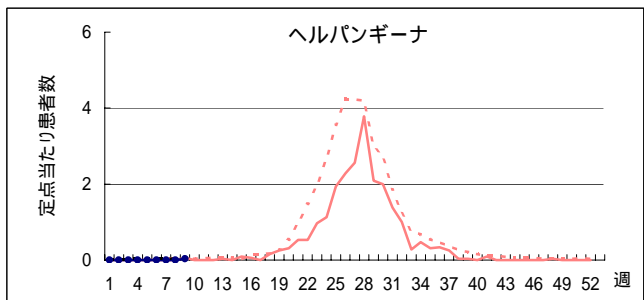
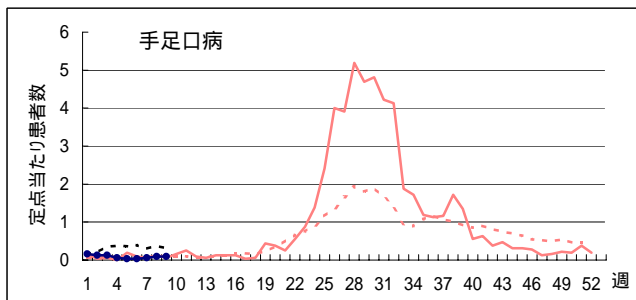
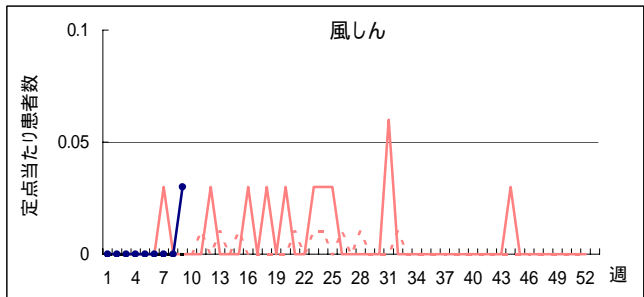
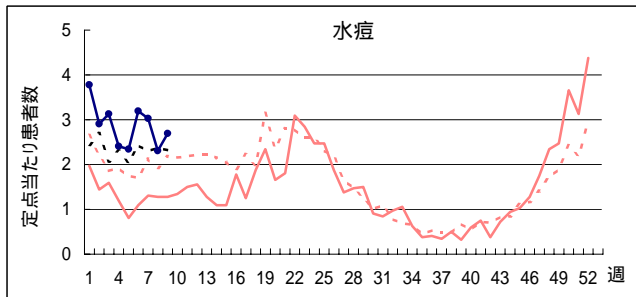
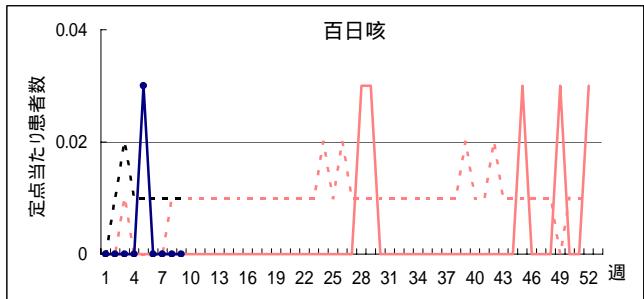
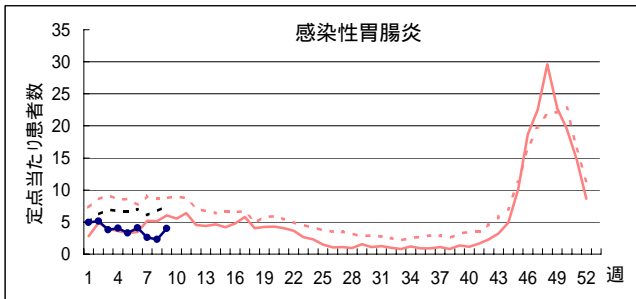
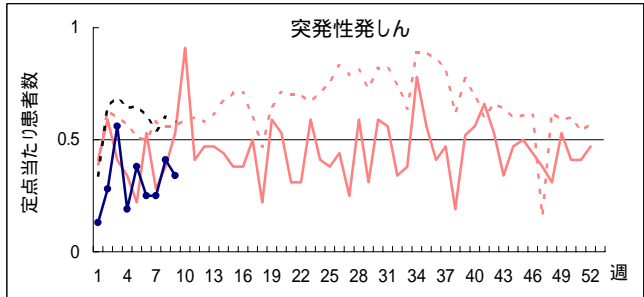
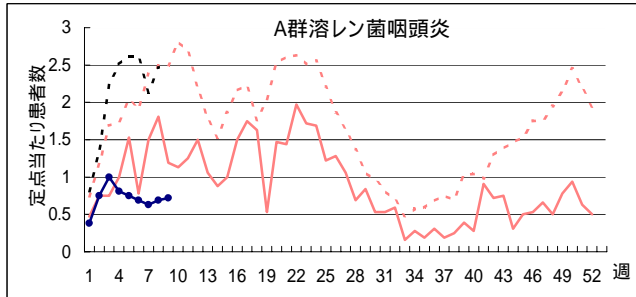
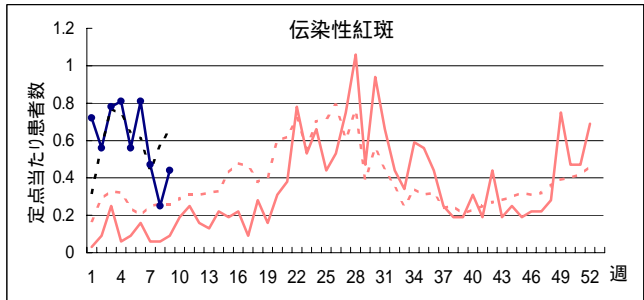
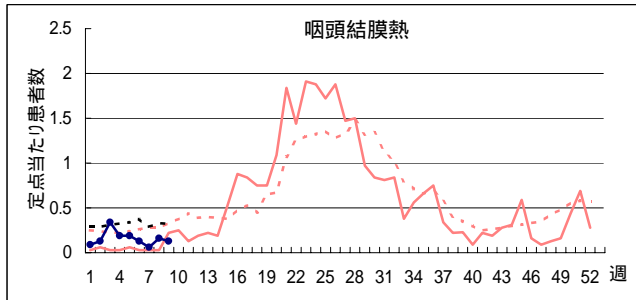
RSウイルス感染症-----県全体では先週より減少しています。

ヘルパンギーナ-----東近江から報告されています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第9週、H19.1.1～H19.3.4)



H18 { 滋賀 (solid red line)  
 全国 (dotted red line)  
 H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
 全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第9週、H19.1.1～H19.3.4)

H18  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -

H19  
 〔 滋賀 ●—●—  
     全国 - - - - -

